

11月20日(火)

東京での研修も残り一週間ほどとなりました。今日は終日吉田和浩先生によるワークショップが行われました。午前中は振り返りと問題に対してのアプローチ方法について(トップダウンとボトムアップ)国際機関の例を挙げながら考えました。また、ローカルレベルでの取り組みと政策レベルでの取り組みについてグループで意見交換を行いました。



午後からはグループごとに与えられた論文を読み、政策を考えるうえで論文の情報が役立つものかどうか評価するワークをしました。研修員はどのようにしたら政策を意識した論文を書くことができるか議論しました。

それぞれの国の背景、課題、プロジェクト、結果についての評価シートを基にしてワークをしました。シートからはわからない情報、さらに調査が必要なもの、プロジェクトを持続するために必要なことなどについて話し合いました。

最後に表を使って各国で取り組まれているプロジェクトを目標、目的、実際の活動、指標などに分類し、result chain を使って視覚化する方法を学びました。

グループワークでは活発な議論が交わされ、非常にレベルの高いワークショップとなりました。それぞれのグループで課題として与えられた国が異なったため、他のグループにもわかりやすいよう工夫してまとめたり、課題を提示したりしていました。プロジェクト評価の手法、政策やプロジェクトの分類など学んだことをすぐに実践することでフレームワーク活用の難しさや課題を設定するうえで重要になることなどについて気があったようでした。